

ののいちもよう

悠久の香りが色濃く残る

[写真は野々市市観光ポスターを使用]

こんにちは
野々市市議会です

議会だより
創刊号
2014年(平成26年)

3月
定例会

平成26年度

当初予算総額

前年度比4.9%増

273億1600万円を可決

平成25年度一般会計補正予算など5会計補正予算も

平成26年3月定例会が3月3日から3月20日までの18日間の日程で開会され、初日に固定資産評価審査委員会委員の選任1件の同意と、人権擁護委員の候補者推薦について適任と認めることを決めました。最終日に、市長から提案のあった平成26年度一般会計予算をはじめとする各会計予算11件、条例11件、議決の一部変更2件、規約の変更1件の合計25件を可決しました。

また、意見書1件を可決し、請願1件を不採択としました。

議会だより 創刊にあたり



平野 政昭 議長

議会だより創刊にあたり議会を代表してごあいさつ申し上げます。市制施行から2年半が経過しました。議会は本市の将来を見据えるとともに、今ある市民の多様なニーズを的確に把握し、住民福祉の向上や地域社会の発展に努める使命があります。「議会だより」を通して、市民の皆さんにこれまで以上に議会情報を提供すること、市民の皆さんとともに行政へのチェック機能を果たしてまいります。併せて、これを機に市民の皆さんから率直なご意見を寄せていただくようお願い申し上げます。

議決結果一覧

平成26年3月定例会

■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案件	平成25年度野々市市一般会計補正予算(第4号)について	可決
	平成25年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
	平成25年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決
	平成25年度野々市市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
	平成25年度野々市市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
	平成26年度野々市市後期高齢者医療特別会計予算について	可決
条例案件	野々市市防災コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市市民館条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市道路占用料条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市建築基準条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	可決
	野々市市都市公園条例の一部を改正する条例について	可決
	石川県市町議会議員公務災害補償等組合理約の変更について	可決
野々市市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	
諮問	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	適任

■意見が分かれた議案

	議案名	議決結果	西本政之	中村義彦	杉林 敏	金村哲夫	辻 信行	川 哲郎	早川 彰一	尾西雅代	平野政昭	土田友雄	西田治夫	大東和美	村本道治	田中昭一	北村成人	岩見 博	
予算案件	平成26年度野々市市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度野々市市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度野々市市介護保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度野々市市下水道事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度野々市市水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例案件	野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	野々市市敬老福祉金支給条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	「特定事業契約の締結について」の議決の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	「特定事業契約の締結について」の議決の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	「特定秘密の保護に関する法律」の廃止・撤廃を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	

○=賛成、×=反対、退=退席

予算特別委員会

3月11日～13日、18日(4日間)
主な質疑内容

質問 国が求めるラスパイルズ指数や職員数削減に関連して、がんばる地域交付金の影響額は。

答弁 本市のラスパイルズ指数はそれほど高くなく、最大4割交付で、本市は3割交付がスタートとなる。交付額は778万円を想定している。

質問 十人川河川改修事業完了が二十六年度となっているが、進捗状況を聞く。

答弁 再度詳細な設計をした結果、不要となった堰の分を12月補正で減額した。二十六年度中に完了予定である。

質問 野々市中央地区整備事業の学校跡地取得費と解体工事にかかる費用は。

答弁 県教委と交渉中であるが、公有財産購入費3億8340万円、工事請負費2億2千万円を計上している。子育て支援センター菅原と学童保育の建物の耐震化の計画は。

答弁 移転も含め、子ども・子育て会議の意見を伺いながら検討していきたい。

質問 町内会への防犯カメラの設置補助があるが、場所の選定、運用や管理は誰が行うのか。

答弁 場所の選定、運用、管理は町内会が行う。

質問 市民一人当たりの福祉予算は他市と比較してどうか。年齢などの構成が異なり金額での比較はできないが、制度的に他市町より劣っていないと考える。



村本 道治 議員

Q 歴史資料館の整備計画は

A 御経塚の史跡公園は発掘で大きな発見が予想される

御経塚遺跡の再発掘と再整備の内容及び末松廃寺跡地の再整備と展示施設の再整備計画を示せ。また金沢市の縄文文化館(仮称)と御経塚遺跡の再整備との関連はどうか。

末松廃寺跡地を26年度から33年度までに再整備し続いて御経塚史跡公園で発掘調査を行う。祭祀が行われたとされる環状木柱列や堅穴住居跡などの重要な遺構の発見が期待される。金沢市の縄文文化館(仮称)とも見学会などで連携したい。

いきいき健康推進事業のさらなる充実を

健康づくり推進員、民生児童委員等との連携を深め特定健康診断の受診率を県下のナンバーワンを目指しては。国民健康保険税の対象者は何人でまた対象世帯数は何世帯か。

国民健康保険税の財政状況は好転するのか。特定健診の受診率は県下4位の約50%で平成20年からの伸び率17・6%増加し更に向上を目指したい。国保の対象世帯数は6300世帯。対象人数は1万5700人であり国保税は平成20年から6年ぶりの改定で引き上げを予定している。医療給付費分については決算や医療費の動向など分析検証し検討を行いたい。



七重の塔のあった末松廃寺模型

健康福祉部長 特定健診の受診率は県下4位の約50%で平成20年からの伸び率17・6%増加し更に向上を目指したい。国保の対象世帯数は6300世帯。対象人数は1万5700人であり国保税は平成20年から6年ぶりの改定で引き上げを予定している。医療給付費分については決算や医療費の動向など分析検証し検討を行いたい。



岩見 博 議員

Q 子ども子育て支援法の下でも「保育所」として存続を

A 基本的にその方向は継続されるのではない

新制度になると市が保育に責任を持つのは「保育所」だけになる。認定こども園などに申し込んだ場合は市の責任はなく、保護者が施設を探すことになる。市内の保育園は「保育所」に移行するのか。

市も民間事業者もこれまで保育園として運営してきた。基本的にはその方向は継続されていくのではない。

中央保育園の改築時期は本町地域の住民のつながり場としての役割を果たしてきた施設として、改築時期を問う。



中央保育園

省いて要支援1以下の市のサービス利用者には振り分けようとしている。認定申請者すべてに認定を受けさせる約束を。振り分けという考え方より、サービスを利便される方にとってどちらのサービスがいいかということを中心に考えて市の窓口で判断していくことになる。

保育のニーズ調査の結果を踏まえ、子ども子育て会議の意見もお聞きしてこれからの中央保育園のあり方を検討したい。

政府は要支援を介護保険外し行うな。政府は要支援を介護保険から外し、介護認定を受ければ要支援2や要介護1になる人を、認定をい。



辻 信行 議員

Q 野々市ブランド開発の推進を求める

A 御経塚イチゴの復活が検討されている

市民提案型協働事業は次年度以降も継続され、2年から3年計画で完了できるように補助事業にすれば、公益性、現実性、発展性、創造性や費用対効果が生まれて来るのではないか。

新規事業の活気あふれるまちづくり事業と施策において、加賀野菜に匹敵するような野々市ブランドの開発に注力すべきではないか。

提案型協働事業は、26年度以降も継続して取り組んでいきたいと思っている。補助対象年度を継続することについては、今後の検討課題としていきたい。

本市においても昭和の頃から源助大根やへた紫ナス、カラシナなどの野菜栽培が盛んであるという意見が一致している。



御経塚イチゴ苗の植付け

培が盛んに行われてきたが、近年農地の減少や後継者不足から出荷量が少なくなってきた。一方で復活を目指すものとして、生産者グループが石川農林総合事務所やJAのいちと協力して御経塚イチゴの復活を検討している。

26年度からの中央地区リノベーション事業の一環に富樫家国公像を「学びの杜」へ移設してどうか。図書館や学習センターの来場者に富樫氏の歴史をアピールすることができる。本市のシンボルとして広く市民に親しまれるようになるのではない。

富樫家国公像建立委員会が検討され、現在の場所が最適であるという意見が一致している。

健康づくり推進

健康づくり推進員、民生児童委員等との連携を深め特定健康診断の受診率を県下のナンバーワンを目指しては。国民健康保険税の対象者は何人でまた対象世帯数は何世帯か。

国民健康保険税の財政状況は好転するのか。特定健診の受診率は県下4位の約50%で平成20年からの伸び率17・6%増加し更に向上を目指したい。国保の対象世帯数は6300世帯。対象人数は1万5700人であり国保税は平成20年から6年ぶりの改定で引き上げを予定している。医療給付費分については決算や医療費の動向など分析検証し検討を行いたい。



西本 政之 議員

Q 投票率向上に積極的に取り組む

A 効果的な啓発活動について今後とも検討して行きたい

選挙の投票率が県内で1、2位を争う低さが続いている。白山市では、大型商業施設に期日前投票所を設置した。本市の取り組みは。

成人式での啓発とともに、学生や若者が数多く来店する飲食店の協力を得て、投票日を記載したティッシュを設置している。小学校で模擬投票による啓発活動も行っている。

これまでの取り組みで投票率が向上していない。さらに積極的な取り組みが必要ではないか。

白山市の取り組みは今後検証していきたい。効果的な啓発活動について今後とも検討していきたい。

他県で投票率向上を推進している。他県で投票率向上を推進している。他県で投票率向上を推進している。

合える地域社会をつくることも考える。今年度、障害のある方の自立を促進する。障害者就業施設等からの物件等の調達方針を策定した。障害のある子どもも障害のない子どもも同じ場で共に学ぶことを目指す。

金沢子ども医療福祉センターが南森本にあるが、野々市からは距離があり保護者の負担が大きい。本市に子ども医療福祉センターを誘致できないか。

県に新規施設計画。市は誘致は難しい。市は誘致は難しい。市は誘致は難しい。

インクルージョン社会とインクルーシブ教育の構築について本市の考え方を伺う。

すべての人に優しく、住みやすいまちであり、ある場合には適切に対応していきたい。

白山野々市広域事務組合議会報告

白山野々市広域事務組合は、ごみ処理施設、し尿処理、斎場、広域消防、家庭と事業所ごみの焼却・リサイクル事業、一般廃棄物最終処分場など、野々市市民の生活に欠かせない重要な事業を行っています。野々市市は年間約13億円を負担しています。

組合議会は、これら事業が適切に行われているかをチェックし、提案する使命を担っていて、野々市市議会3名、白山市議会7名の議員で構成されています。



松任石川環境クリーンセンター (白山市上小川町795番地)

現在の最終処分場が契約終了に

現在の一般廃棄物最終処分場(白山市坂尻町)の契約期限が迫っていることから、白山市小川町地内に5.1畝の新たな最終処分場を造成する計画案が作野広昭組合長(白山市長)から組合議会に示されました。

計画案では、供用開始は平成29年度の予定です。



白山野々市広域消防本部 (白山市三浦町255番地1)

白山石川医療企業団議会報告

公立松任石川中央病院と公立つるぎ病院のための議会で、白山石川医療企業団議会は野々市市議会3名、白山市議会6名、川北町議会1名で構成されています。

公立病院では全国でも屈指の経営を行い財務体質も極めて良好な医療機関です。平成26年度は、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供するため第5次増改築事業を進めます。特に看護体制の充実を図るため金城大学が主体となって病院敷地内に地上4階建ての「看護学部」棟を建設します。看護学部は4年制で1

年次80人3年次編入10人の2年で総員340人。平成27年4月開学予定です。また、医療法の改正にともない地域医療ビジョンの策定を計画しています。

つるぎ病院では主に福祉・保健・介護の多職種連携を強化し、リハビリ機能の充実が図られています。両病院あわせてベッド数457床、平成26年度予算総額約170億79百万円で野々市市は年間約1億36百万円を負担しています。



公立松任石川中央病院 (白山市倉光3丁目8番地)

看護学部
計画敷地

質問 高齢化が進む中、障害者だけでなく誰もが読み書きに困らない社会を作るために、「地域福祉計画」の中での、読み書き情報支援の必要性の啓発、支援員の育成を。

健康福祉部長 すべての方が暮らしやすい社会を目指し、ユニバーサルデザインによる環境整備の推進を図るため、市と社会福祉協議会、市民が連携し、大きな文字やわかりやすい色の採用など情報のバリアフリーの拡充を図る計画としている。啓発については、毎年福祉相談会を開催して福祉機器や各種制度について情報提供している。支援員の育成は県の研修や点訳奉仕員養成研修を開催している。現在はボランティアバンクの設立に向け、市民



大東和美 議員

Q 読み書き情報支援の必要性の啓発、支援員の育成を

A 毎年相談会を開催して各種制度の情報を提供している



大型店舗出店予定地周辺

質問 菅原交差点角地の工場跡地に大型店舗が出店する。隣接する保育園の送迎時など、近隣住民から事

健康福祉部長 重要な個人情報や公的サービスを利用することが適当と考えられる。

産業建設部長 創和テキスタイル工場跡地への大型店舗出店に伴う渋滞対策は重要と考える。東側の店舗駐車場への進入は鶴来方面からの左折のみとする。北側は、高尾堀内線に直結する専用道路2本と市道を含めて3カ所で、南側及び西側の出入り口はない。出入り口に指定方向の規制を設ける計画である。

質問 菅原交差点角地の工場跡地に大型店舗が出店する。隣接する保育園の送迎時など、近隣住民から事

健康福祉部長 重要な個人情報や公的サービスを利用することが適当と考えられる。

産業建設部長 創和テキスタイル工場跡地への大型店舗出店に伴う渋滞対策は重要と考える。東側の店舗駐車場への進入は鶴来方面からの左折のみとする。北側は、高尾堀内線に直結する専用道路2本と市道を含めて3カ所で、南側及び西側の出入り口はない。出入り口に指定方向の規制を設ける計画である。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会を円滑かつ効率的に進めていくための委員会で、議会全体の進行の要となります。

議会運営委員会の権限は、

- 一、議会の運営に関する事。
- 二、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事。
- 三、議長の諮問に関する事。

これらに関して調査を行うことと、陳情等の審査を行うことなどです。市制施行後、議長からの諮問を受けて議会改革にも取り組みました。今後も積極的に議会改革を進めて市民に開かれた議会を目指します。

市制施行後の三年間で取り組んだ主な議会改革

- 4常任委員会制の実施にあわせた委員会への複数所属
- 議員全員による予算特別委員会
- 一般質問の「一問一答方式」の導入
- 子ども議会の開催
- 議会防災講演会の開催
- 議会だよりの発行

議会を傍聴しませんか

傍聴の受付は庁舎三階の議場前で行っています。
お問い合わせは
議会事務局 TEL 227-6141

平成二十六年第二回 六月定例会日程のお知らせ

- 会期六月五日(木)～六月二十三日(月)までの会期十九日間
- 六月五日(木) 午前十時
本会議 開会・提案理由説明
- 六月十二日(木) 午前九時三十分
本会議 一般質問・質疑
- 六月十三日(金) 午前九時三十分
本会議 一般質問・質疑
- 六月十六日(月)～六月十九日(木)
特別委員会・常任委員会審査
- 六月二十三日(月) 午後二時
本会議 討論・採決・閉会



議会運営委員会

総務常任委員会報告

市民協働のまちづくり

市民協働課から、2月22日(土)文化会館フォルテにおいて、まちづくり基本条例策定委員会主催による「キックオフ講演会ワールドカフェ」を開催したとの報告がありました。

平成26年の条例制定に向けた活動の一環で、相模女子大

学、松下啓一先生による基調講演と参加者によるグループ討議とのことでした。

新たな防災訓練

環境安全課から、26年度より拠点避難所を10カ所に増やし一斉防災訓練を行なうことと、4月以降には町内会と連携して高齢者や身体の不自由な人とともに避難をする訓練を取り入れたいとの報告がありました。

産業建設常任委員会報告

新観光パンフレットの紹介

産業振興課より観光パンフレットをA4サイズ3つ折りで3千部を印刷、表題を「いい日ーのいち」から「いい日ーのいち」に変え、英語表記も加えるとの報告がありました。委員から、点字表記も求める質問があり、「今のところ点字表記は検討していないが、将来的に進めていけ



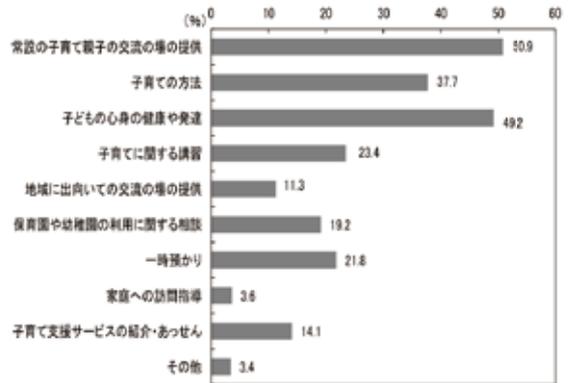
新観光パンフレット

れば」との答弁がありました。今後、視察や市の催し、東京のアンテナショップ等で活用することとした。

健康福祉常任委員会報告

「野々市子ども子育て支援事業計画」の策定へ

平成27年度から5カ年の計画策定に向けたアンケート調査結果が報告されました。それによると、子育て市民が利用を希望するサービス内容のトップは「常設の子育て親子の交流の場の提供」でした。



教育文化常任委員会報告

学力調査結果の公表

教育委員会から学力調査結果については総評のみ公表し、数値は公表しない方針が示されました。その理由は、学校の序列化や過度の競争による弊害を防ぐためとしています。

地元産食材の使用を増やせ

新給食センターの完成に伴い、2学期からすべての小中



建設中の野々市市小学校給食センター

学校の給食が給食センターから配送されることになりました。委員から、よりいっそうの地元産食材の使用を求める意見が出されました。

編集後記

人口が5万5千人を超えました。「議会だより」を議会全員の手により年4回定例会毎に発行することを決め、市民の皆さまの議会への理解と参加について検討を重ねてきた創刊号です。全国住みよさランキングでは2位ですが更に安心して暮らすことができ市民同士が声を掛け合える街にとの願いを込めた編集方針を貫きました。

編集委員長 村本道治
副委員長 早川彰一
委員 岩見 博 大東和美
川 哲郎 辻 信行

